

早島町地方創生推進交付金事業

実績報告

(令和3年度実施分)

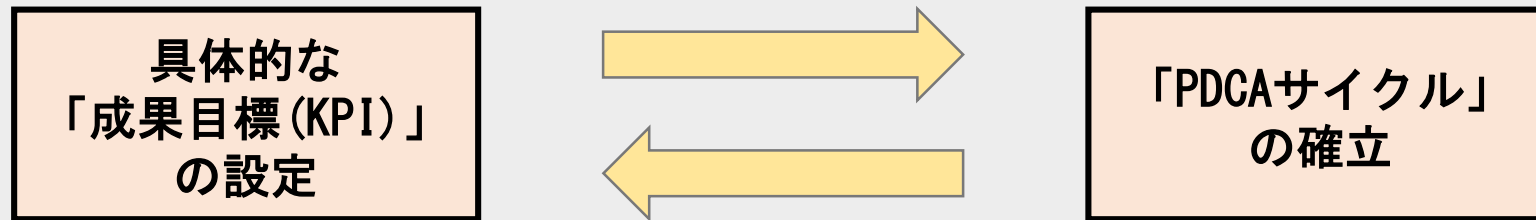
令和4年11月29日

地方創生推進交付金とは

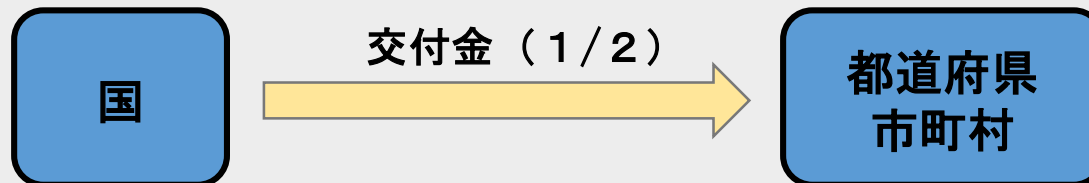
所管：内閣府
地方創生推進事務局

【概要】

- 1 地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援
例) 観光振興、しごと創生 など
- 2 K P I の設定と P D C A サイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取り組みを支援



【資金の流れ】



※ 1 / 2 の地方負担については、地方財政措置を講じる

早島町地方創生推進交付金事業

【事業名称】

歩いて暮らせる魅力あるまちづくり

『JR早島駅・いかしの舎・ふれあいの森をはじめとする、まち歩き拠点のPR
及び魅力UP事業』

【基本目標】

「歩いて暮らせる魅力あるまちづくり」をテーマに事業を展開。

休日を早島町で過ごす人を増やして町内に賑わいを創出することで、JR早島駅に観光による新たな交通需要を生み出す。

【実施期間】

令和2年度から令和6年度（5年間）

ALKARE（歩かれえ）事業

目的

観光振興・情報発信

【事業概要】

- ・地元情報誌（以下、ALKARE早島）の発刊
- ・健康づくり×観光の仕組みづくり
- ・デジタルスタンプラリーの企画運営

【事業実績】

- ・ALKARE早島を年2回発刊
町内約5,100世帯に配布するとともにJR早島駅など町内各所へ配置
- ・ALKARE早島に早島町内の店舗で使える歩数連動型割引クーポンを掲載し「健康づくり×観光」のスタイルを構築
[令和3年度クーポン利用件数：107件]
- ・早島町内の名所38ヶ所を巡るデジタルスタンプラリーを開催
[令和3年度デジタルスタンプ数：950件]

(右)
ALKARE早島表紙



PR・シネマ・コンサート事業

目的

観光振興・情報発信

【事業概要】

- ・まち歩き及びまち歩き拠点のPR
- ・町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホールを活用した映画上映会の企画運営
- ・町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホールを活用したスタインウェイピアノコンサートの企画運営

【事業実績】

- ・プロモーション動画（5分前後）の作成
- ・映画上映会を定期開催（令和3年8月～令和4年3月）
[令和3年度観客数：578人]
- ・東京パラリンピック2020閉会式でピアノを演奏した西川悟平氏によるピアノコンサートを開催（令和4年3月20日）
[令和3年度観客数：520人]



(上) 映画上映会のバナー



(右) ピアノコンサートのチラシ

まち歩き拠点魅力UP・収益UP事業

目的

観光振興

【事業概要】

- ・まち歩き拠点に景観装置を設置
- ・早島ふれあいの森公園に利益を生み出す仕組みを構築
- ・早島ふれあいの森公園キャンプ場に新たな有料エリアを整備

【事業実績】

- ・早島公園と山川池親水公園にザイルクライミングを設置 ※R2年度事業
- ・早島ふれあいの森公園駐車場に料金徴収システムを設置 ※R2年度事業
[令和3年度駐車場料金収入：271,600円]
- ・早島ふれあいの森キャンプ場に新たな有料エリアとしてオートサイトを整備
[令和3年度キャンプ場利用者数：3,772人]



(上) 早島ふれあいの森公園

(下) ザイルクライミング



交付金事業の重要業績評価指標（K P I）

交付金事業の重要業績評価指標 （K P I）の名称		事業開始前 （令和元年度実績）	令和2年度	令和3年度
1 JR早島駅乗降客数 【人／日】	2,476	K P I	2,496	2,516
		実績値	1,882	1,868
2 まち歩き拠点『いかしの舎』の 年間収入【千円／年】	16,000	K P I	16,000	17,000
		実績値	18,375	16,457
3 空き家バンク登録数 【件／年】	0	K P I	0	1
		実績値	0	1

令和3年度事業費内訳

【単位：千円】

事業名及び内容	事業費	財源内訳				
		国交付金	特別交付税	寄附金	地方債	一般財源
ALKARE (歩かれえ) 事業	9,600	4,800	3,840	0	0	960
PR・シネマ・コンサート 事業	10,000	5,000	4,000	0	0	1,000
まち歩き拠点魅力UP・収 益UP事業	12,000	6,000	0	2,000	3,600	400
合 計	31,600	15,800	7,840	2,000	3,600	2,360

国交付金 : 地方創生推進交付金 (補助率1/2)

特別交付税 : 町負担額×0.8を措置 (対象はソフト事業 [ALKARE事業、PR・シネマ・コンサート事業] のみ)

寄附金 : 企業版ふるさと納税

地方債 : 一般補助施設整備等事業債 (充当率90%、交付税措置なし)

有識者による意見・助言

令和3年度地方創生推進交付金を活用した事業について、令和4年7月1日開催の有識者懇談会へ報告しました。有識者からの意見・助言は次のとおりです。

1 有識者

阿部 宏史	環太平洋大学 副学長
草野 浩一	岡山県備中県民局地域づくり推進課 課長
小林 雄三	岡山県総合流通センター運営協議会 事務局長
斉藤 誠人	(一社)岡山県宅地建物取引業協会
徳田 恭子	(特非)まちづくり推進機構岡山 代表理事

2 意見・助言

(1) ALKARE (歩かれえ) 事業

- ・アルカレ早島の利用者について、年齢層、居住地、評価などの情報を収集して精査するべき。
- ・冊子の文字が小さく文字数も多いため、高年齢層に読んでもらうには工夫が必要。
- ・アルカレ早島やハヤシネマのデザインは素晴らしいので、デザインに力を入れるコンセプトは継続してほしい。

(2) PR・シネマ・コンサート事業

- ・広報活動に力を入れて、町外に対しても事業をPRしていくことが重要である。
- ・幅広い世代が楽しめる最大公約数的な作品を上映するよりも、あえて特定の層だけに刺さるマイナーな作品を上映してはどうか。早島町でしか観ることができない作品を上映していれば話題になるのではないか。

(3) まち歩き拠点魅力UP・収益UP事業

- ・早島町内で食事するには国道2号線沿いまで行かなければならない。早島駅や役所の近くに魅力的な食堂やカフェがあれば、まち歩き拠点として多くの観光客を呼び込むことができる。
- ・ふれあいの森公園駐車場の有料化は公園利用者の減少に繋がる恐れがあるので検証するべき。